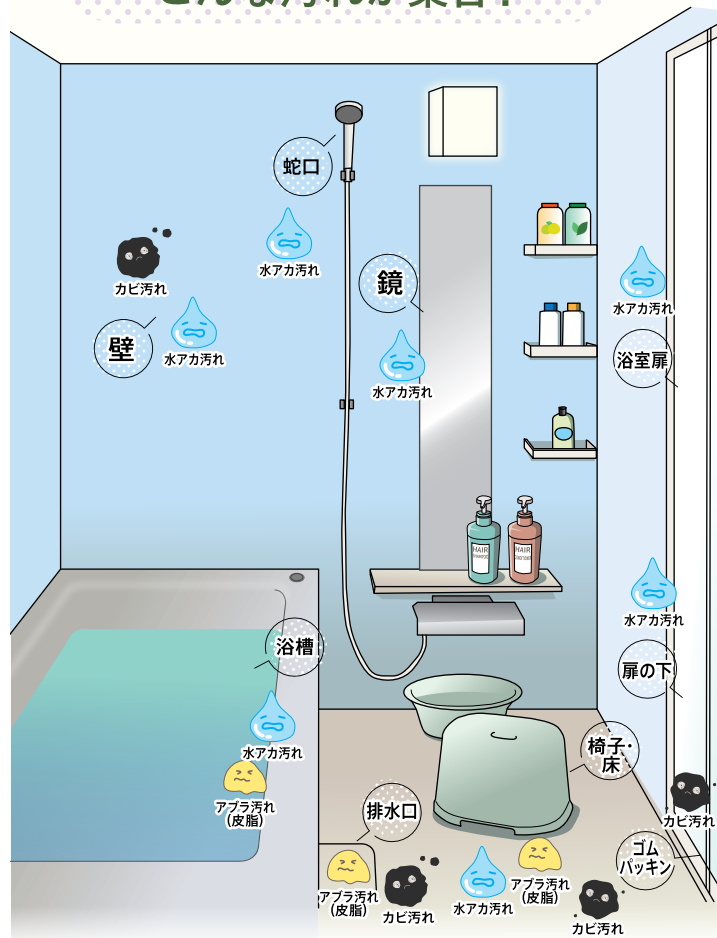


お風呂を効率よくキレイにしよう

汚れの性質を知れば、適材適所の洗剤が分かります。
かしこく選んで効率よくお風呂掃除をすれば大掃除が楽になる！

Bathroom

浴室には
こんな汚れが集合！



カビの繁殖条件

湿度

80%以上で活発に繁殖

栄養

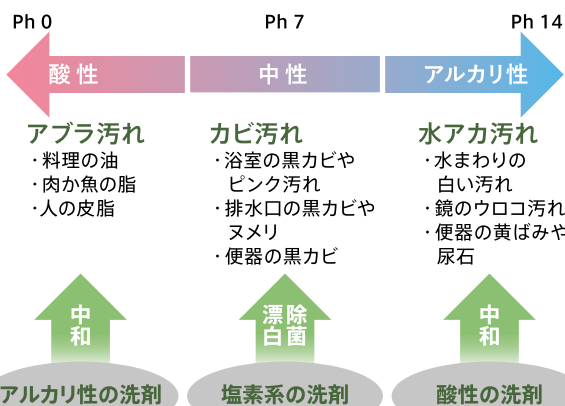
石けんや皮脂汚れ
髪の毛など

温度

0~40℃で
特に20~30℃でよく繁殖

Cleaning

3種類の生活汚れは
化学反応で落とす

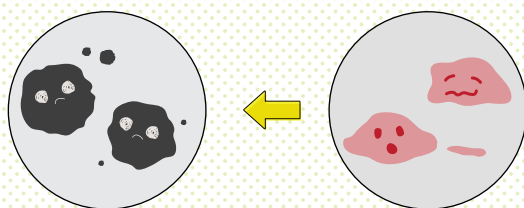


Trivia

豆・知・識

水まわりのピンク汚れはカビじゃない！

浴室の床や床隅によく見かけるピンク汚れはカビではなく、酵母菌やメチロバクテリウムという細菌で、皮脂などを栄養にして繁殖しています。ほっておくと黒カビの原因になるのでこまめに除去しましょう。



浮き上がらせて落とす アルカリ性の洗剤

キッチンマジックリン など

換気扇やコンロなどの
しつこい汚れは浮かせて分解。



汚れを溶かして落とす 酸性の洗剤

サンポール、ルック など

トイレ用ですが、水アカ汚れ
にも使えます。
ただし溶かす作用が強いので要注意！



カビやヌメリを落とす 塩素系の洗剤

カビキラー、強力カビハイター、
キッチンハイター、ドメスト、
バスマジックリン など

など商品が豊富。



オールマイティに活躍 中性の洗剤

主に 食器用洗剤 など

弱酸性から弱アルカリ性まで
ありますが、中性が比較的多い。



caution ⚠ 混ぜるな危険！

塩素系漂白剤は酸素系洗剤と混ぜると有毒ガスが発生するのでとても危険です。酸性だけでなく、お酢やクエン酸にも注意しましょう。

掃除の順番が カビ予防の鍵

汚れは高いところから低いところに落ちていくので、
浴室全体を掃除するときの順番は、
換気扇・天井 → 壁 → 浴槽・床

からだを洗うのと
一緒だよ!

Labo's Technic!

換気扇



動画で

Check!

用意するもの

- ・掃除機とブラシがあるノズル
 - ・浴室用中性洗剤
 - ・ゴム手袋
 - ・やわらかい布とスポンジ
- ① 運転を停止し吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。
 - ② フィルターの取っ手を引っ張り、取り外します。
 - ③ 掃除機で埃を吸い取ります。
 - ④ 浴室用中性洗剤を適量に薄め、フィルターを浸して柔らかい布やスポンジで洗います。
 - ⑤ フィルターに洗剤が残らないように、湿らせたきれいな布でふきとります。
 - ⑥ フィルターを元通りに取り付けます。

月に1回のカビ予防 天井掃除には フロアワイパー

Labo's recommend!

手が届きにくい天井には
フロアワイパーを使います。

用意するもの

- ・フロアワイパー
- ・キッチンペーパー
- ・防カビ洗剤(カビキラーなど)



- ① フロアワイパーにキッチンペーパー3枚を着けて、洗剤をまんべんなく吹き付けます。
- ② 天井を浴室の奥から出入り口に向かって拭いていき、洗剤が切れたらまた吹き付けて拭く作業を繰り返します。洗剤が自身に落ちてこないよう少しずつ拭きましょう。
- ③ 全体を塗り終わったら5~30分放置します。
- ④ キッチンペーパー3枚を水に濡らして、洗剤を塗った時と同じ順番で水拭きを2~3回、最後に乾拭きで仕上げて終了です。

カビキラーでも落とせない頑固なカビには
『片栗粉×漂白剤』を混ぜたカビ除去だんご!

Supply

用意するもの

市販の
片栗粉

塩素系
漂白剤

混ぜるための
容器と
かき混ぜ棒



手袋

ラップ



How to Cleaning

つくりかた&手順

黒カビ除去だんごを作る



- ① 容器に片栗粉と漂白剤を1:1の割合になるよう入れる混ぜる。



- ② 粉っぽさがなくなるまでよく混ぜる(手で丸められるくらいの硬さがオススメ)

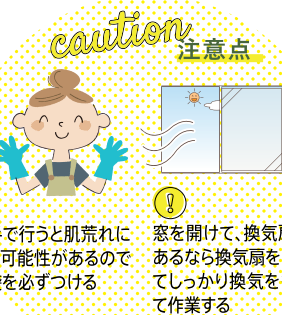
いざ!お掃除



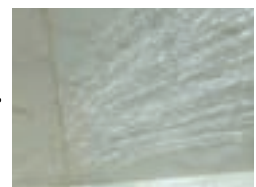
- ④ 黒カビ除去だんごを必要量とり、黒カビを落としたい箇所に塗る



- ⑤ 効果が浸透しやすくなるためにラップで覆い、1時間以上放置する



- ③ 掃除箇所は水気を拭き取るか、乾燥させて乾かす



- ⑥ シャワーでよく洗い流す(排水口のつまり防止のために、片栗粉を手袋で落としてから流す)

Trivia

豆・知・識

汚れ防止マスキングテープでお風呂のカビ予防

汚れ防止マスキングテープの効果

浴室のコーキングやゴムパッキングにカビの発生を抑制したり、ドアのレールなどに溜まる埃や髪の毛など、掃除機やフロアワイパーなど普段の掃除で取り切れないゴミをキャッチします。汚れたらテープを貼り替えるだけで掃除の手間が省けて楽々。テープが黒ずんだり、ピンク色になるなど変色が見られたり、汚れが現れたときに貼り替えます。

クラフト用など清掃用以外のマスキングテープはNG!

マスキングテープはもともと水場で使うことが考えられておらず、高温多湿の場所に貼り続けると、カビが発生してしまうことがあるのでかえって逆効果。剥がすときに粘着剤が残ったり、コーキング材や塗装が剥がれたりする可能性も...



After

